

# 吉野作造 (よしの・さくぞう) 1878~1933

政治学者・政論家 ~大正デモクラシーの旗手~

**出生** 1878年(明治11)1月29日、宮城県志田郡大柿村(現・古川市)に綿屋を営む吉野屋(父年蔵、母こう)に生まれる。父は後に町長をつとめる。

**履歴** キリスト教徒になる(1898)。東京帝国大学法科大学政治学科卒業(1904 銀時計)。同大学大学院入学(1904)。清国袁世凱家の私教師になる(1906 帰朝は1909)。政治史及政治学研究のため欧州留学(1910 - 1913)。東京帝国大学法科大学教授(1914 - 1924)。この間『中央公論』を中心に活発な評論活動を行う。黎明会結成(1918 啓蒙運動団体 新渡戸稲造等自由主義的知識人とともに)。朝日新聞社入社(編集顧問兼論説委員 1924.3 - 5)。明治文化研究会を組織する(1924)。

**事績** 吉野は主に次の4つの面で実績を上げた。民本主義を鼓吹して普通選挙と政党政治の実現に寄与し、大正デモクラシーを主導した。友愛会、新人会を通して労働運動の発展を助けた。朝鮮・中国のナショナリズムを

いちはやく直視してこれと連帯する道を探った。民本主義の国際的適用。民本主義を歴史的に根拠づけるため明治文化研究会を組織し日本近代史研究の道を開いた。(主として松尾尊兌の説明による)

**評価** 左右両派から主張の内容や論の不徹底さについて批判を受けた。しかし時代の要請をくみ取り、それに真摯に対応し、前記の実績を上げた。「一つ一つをとってみても歴史に残る仕事である。それぞれの領域で彼に匹敵する業績をのこした人物はいないではないが、そのすべてを蔽いえたのは彼をにおいて他にない。」(松尾尊兌)

**代表作**

「憲政の本義を説いて其有終の美を済すの途を論ず」 『中央公論』1916年1月号に発表され、吉野を一躍論壇の寵児たらしめた。民本主義(次項キーワード参照)の内容を説明し、様々な批判に反論を加えている。民本主義は2つの内容を持ち、1つは「政治の目的は一般民衆の利福に在るべし」であり、もう1つは「政策の決定は一般民衆の意向に拠るべし」である。それらを充足させるため衆議院を政界の中心勢力たらしめることを要求し、その前提として普通選挙・言論の自由・政党内閣制の実現を上げる。官憲の弾圧を受けるおそれなく前記内容を説得力を持って主張し得る論理を提供したことにより、多くの人の心をとらえた。選集2に収録。

**キーワード**

**民本主義** デモクラシーの訳語である。デモクラシーには2つの意味があり、1つは、「国家の主権は法理上人民に在り」という意味であり、もう1つは、「国家主権の活動の基本的目標は政治上人民に在るべし」という意味である。民本主義はこの第2の意味を表わすときに使われる。民本主義という語そのものはすでに使われていたが、天皇主権の明治憲法下でリベラル・デモクラシーを最大限に追及するために、吉野が語の意味を整理・展開し、普通選挙の上に立つ政党内閣制を主張し得るものにした。

**キーワード** 関東大震災下の混乱時に陸軍が大杉栄とともに吉野を暗殺の対象に挙げていた。このことは、吉野が軍閥・官僚等の旧勢力に、いかに身を挺して戦ったかを示している。

**最期** 1933年(昭和8)3月18日、結核のため逗子の湘南サナトリウムで死去。享年55歳。



## Great Works 17

### 吉野作造選集 全16巻 岩波書店 1995~1997年 <081.6 / 121>

**解題** 本選集は、吉野の主要な論文・著作をテーマごとに分けて編成されている。初めて公開された相当な分量になる吉野日記や詳細な著作年表・年譜などが収録されており、吉野の業績をたどるのに有益なものとなっている。

**内容**

- 1 = 政治と国家 本邦立憲政治の現状 [1905年] ヘーゲルの法律哲学の基礎 [法理研究会 1905年 吉野の処女出版] 「国家威力」と「主権」との觀念に就いて [1905年] デモクラシーと基督教 [1919年] 国家的精神とは何ぞや [1920年] 他
- 2 = デモクラシーと政治改革 憲政の本義を説いて其有終の美を済すの途を論ず [1916年] 民本主義の意義を説いて再び憲政有終の美を済すの途を論ず [1918年] 民本主義・社会主義・過激主義 [1919年] 普通選挙主張

- の理論的根拠に関する一考察 [ 1920 年 ] 我が国無産政党の辿るべき途 [ 1927 年 ] 近代政治の根本問題 [ クララ社 1929 年 ] 他
- 3 = 大戦から戦後への国内政治 [ 1909 - 1921 ] 選挙権拡張論 [ 1913 年 ] 民衆の示威運動を論ず [ 1914 年 ] 婦人の政治運動 [ 1915 年 ] 陸軍拡張に反対す [ 1918 年 ] 小選挙区制の利害 [ 1920 年 ] 他
- 4 = 大戦後の国内政治 [ 1922 - 1933 ] 甘粕事件の論点 [ 1923 年 ] 普選と政治教育 [ 1925 年 ] 枢密院と内閣 [ 1927 年 ] 軍部および枢密院関係者を刺激し筆禍事件となる [ 天皇中心主義と議会中心主義 [ 1928 年 ] 憲法と憲政の矛盾 [ 1929 年 ] 統帥権の独立と帷幄上奏 [ 1930 年 ] 他
- 5 = 大戦期の国際政治 [ 1904 - 1918 ] 露国の敗北は世界平和の基也 [ 1904 年 ] 欧州戦局の現状及戦後の形勢を論じて日本将来の覚悟に及ぶ [ 1917 年 ] 軍閥の外交容嘴を難ず [ 1918 年 ] 民本主義と軍国主義の両立 [ 1918 年 ] 他
- 6 = 大戦後の国際政治 [ 1919 - 1932 ] 国際連盟は可能なり [ 1919 年 ] 人種的差別撤廃運動者に与ふ [ 1919 年 ] 帝国主義より国際民主主義へ [ 1919 年 ] 他
- 7 = 中国論 1 [ 単行本 3 冊を収録 ] 支那革命小史 [ 万葉書房 1917 年 ] 日本人による最初の中国革命史研究 [ 第三革命後の支那 [ 内外出版 / 政治研究会 1921 年 ] 対支問題 [ 日本評論社 1930 年 ]
- 8 = 中国論 2 [ 1906 - 1918 ] 日支交渉論 [ 警醒社書店 1915 年 ] 支那人の形式主義 [ 1906 年 ] 支那帝政問題に対する我国の態度 [ 1915 年 ] 支那の革命運動に就いて [ 1916 年 ] 他
- 9 = 朝鮮論 付中国論 3 [ 1919 - 1932 ] 満韓を視察して [ 1916 年 ] 対外的良心の発揮 [ 1919 年 ] 朝鮮人の自治能力 [ 1919 年 ] 朝鮮人虐殺事件に就いて [ 1923 年 ] 北京大学学生騒擾事件に就て [ 1919 年 ] 他
- 10 = 社会運動と無産政党 労働運動に対する予の態度 [ 1919 年 ] 我国労働運動の一大欠陥 [ 1921 年 ] 無産政党問題に対する吾人の態度 [ 1925 年 ] 日本学生運動史 [ 『岩波講座教育科学』第 15 冊に収録 岩波書店 1932 年 ] 他
- 11 = 開国と明治文化 新井白石とヨワン・シローテ [ 1922 年 ] 福沢先生と洋服 [ 1925 年 ] 明治文化の研究に志せし動機 [ 1926 年 ] 婦人問題に関する文献 [ 1927 年 ] 『明治文化全集』は如何にして編纂されたか [ 1927 年 ] 明治維新の解釈 [ 1927 年 ] 我国近代史に於ける政治意識の発生 [ 『政治学研究』第 2 巻収録 岩波書店 1927 年 ] 吉野の明治文化研究の集大成でありその水準を示す到達点である。] 聖書の文体を通して観たる明治文化 [ 1928 年 ] 他
- 12 = 随筆 評論家としての自分並佐々政一先生のこと [ 1918 年 ] 予の一生を支配する程の大いなる影響を与へし人・事件及び思想 [ 1923 年 ] 新人運動の回顧 [ 1923 年 ] 僕の観た河上君 [ 1919 年 ] 他
- 13 = 日記 1 [ 明治 40 - 大正 2 年 ]
- 14 = 日記 2 [ 大正 4 - 14 年 ]
- 15 = 日記 3 [ 昭和 2 - 7 年 ]
- 別巻 = 書簡・年譜・著作年表ほか

## 参考文献 ~この人をもっと知るために~

### < 図書 >

- 📖 アメリカ人の吉野作造論 / B . S . シルバ - マンほか著  
風行社 1992 年 154 p < 311.21AA / 106 > 資料番号 20467353
- 📖 吉野作造とその時代 / 井出武三郎著  
日本評論社 1988 年 214 p < 311.21Y / 45 > 資料番号 20127932
- 📖 近代日本思想大系 17 / 松尾尊兌編集  
筑摩書房 1976 年 497 p < 121G / 73 / 17 > 資料番号 10194389
- 📖 吉野作造評論集 / 吉野作造著  
岩波書店 1975 年 361 p < 131 / 3a > 資料番号 20615480
- 📖 大正デモクラシ - 論 / 三谷太一郎著  
中央公論社 1974 年 306 p < 311.2 / 60 > 資料番号 10650273
- 📖 日本の名著 48 / 吉野作造著  
中央公論社 1972 年 500 p < 081.6 / 34 / 48 > 資料番号 12785457
- 📖 吉野作造 / 田中惣五郎著  
三一書房 1971 年 391 p < 289.1 / 319A > 資料番号 10522092
- 📖 明治文化全集全 24 巻 / 吉野作造ほか編  
日本評論社 1928 ~ 30 年 < 081.6 / 5 > 資料番号 10143725

### < 図書(部分) >

- 📖 吉野作造 / 樋口謹一著(20 世紀を動かした人々 第 2 巻)  
講談社 1963 年 p 223-316 < 280.8 / 10 / 2 > 資料番号 10496867
- 📖 吉野作造 / 林茂著(近代日本の思想家たち)  
岩波書店 1958 年 p 105-160 < 363 / 64 > 資料番号 10982007